



フレッシュとリフレッシュ

人も含め、生物は日々刻々と新陳代謝している訳ですが、働く組織にも新陳代謝は必要です。フレッシュな人材は組織を活性化します。また、組織にとっても個々の人にとってもリフレッシュは必要です。

個々の人にとって、一日の中で、短くてもリフレッシュすること、気分転換ともいえるリフレッシュが大事です。上手くリフレッシュしていくことが、生きるのに、働くのに、大事な要素と思います。

院長 小川 洋史

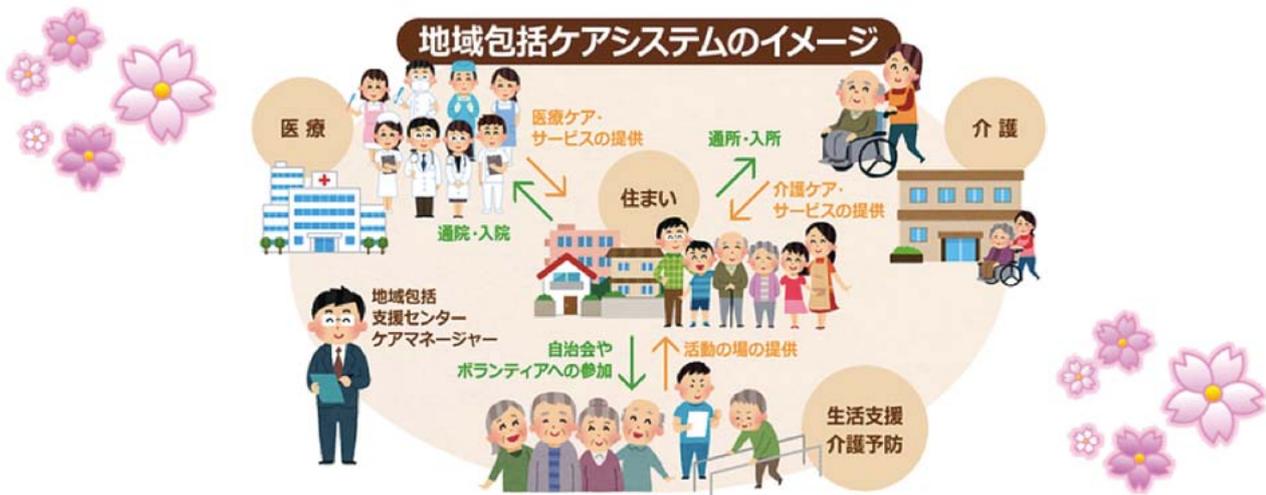
写真：藤原岳と梅（いなべ農業公園）（撮影：小川 洋史）

住み慣れた地域で自分らしく生活をするために

新生会第一病院 看護部長 宮下 美子

日本では急速に高齢化へ進んでいます。名古屋市では、市民の約4人に1人(平成27年6月)が65歳以上の高齢者となっています。団塊の世代が75歳以上となる2025年(平成37年)に向けて「地域包括ケアシステム」の構築が進められています。

「地域包括ケアシステム」とは、介護が必要になった高齢者も、可能な限り住み慣れた地域で暮らし続けられるように、医療、介護、生活支援などを包括的に受けられ安心して暮らしていくための仕組みです(下図のイメージ)。住み慣れた地域で暮らし続けながら、必要に応じて医療や介護などのサービスを使い最後を迎えられるような体制とも言えます。



名古屋市では、在宅医療を充実させ、医療と介護が連携し、「チーム」として在宅で療養を続ける高齢者とその家族をサポートするために、名古屋市医師会と協力して地域の医療機関と介護サービス事業者との連携拠点となる「在宅医療介護連携支援センター」を開設します。



センターの主な役割は

- ① 在宅医療に関する相談窓口
- ② 地域の医療・介護資源の把握
- ③ 地域住民への普及啓発
- ④ 医療介護関係者への研修
- ⑤ 切れ目ない在宅医療・介護連携の構築支援
- ⑥ 退院時の連絡・調整支援
- ⑦ 情報共有ツールの活用支援・普及促進
- ⑧ 後方支援病院等との連携・調整支援

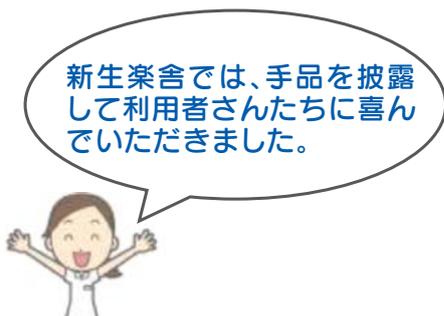
(厚生労働省・名古屋市ホームページ参照)

瑞穂区のセンターは、平成28年4月に、新生会第一病院の旧新生会クリニックで開設されることになりました。センターの業務は、名古屋市医師会の職員である医療ソーシャルワーカーやケアマネジャーの資格を持つ看護師等が行います。
 新生会第一病院としても連携を取って地域の皆さまのサポートをしていきたいと考えております。

職場体験が行われました!!

在宅透析教育センター 看護師 増田 めぐみ

1月27・28日の2日間、萩山中学校2年生の学生2名が職場体験実習に来ました。新生会・新生楽舎・十全クリニックを見学し、そこで働く医師や薬剤師など多くの医療者から話を聞き、それぞれの仕事を体験しました。薬局や手術室で、白衣に着替えると学生の顔から引き締まった表情に変わりました。



医療安全管理室を開設しました

セーフティマネジャー 牛崎 ルミ子

2008年、第5次医療法改正では医療の安全を確保のための措置が規定されました。新生会第一病院では医療の質の向上と安全の確保を目的に、患者の安全を守る安全管理体制、委員会活動、職員への教育、医療事故防止活動など、医療安全管理者として2015年度から医療安全管理室で活動しています。



B型・C型肝炎について—特に予防と治療について—

新生会第一病院 院長 小川 洋史



はじめに血液透析療法において、肝炎ウイルス感染の問題は、依然、存在しています。

肝炎の問題点、疫学、および、最近、高率にウイルスを排除できるようになってきたC型肝炎治療薬、そして、B型肝炎予防策について簡単に記します。



慢性肝炎とは

肝炎ウイルスに感染し、肝臓が慢性的に炎症をおこしている状態をいいます。日本国内でのB型・C型肝炎ウイルス感染者数は210～280万人と云われています。

慢性肝炎の問題点

自覚症状に乏しいまま肝硬変になり、また肝ガン発症の危険性が高まることです。肝ガンの原因はC型肝炎が約68%、B型肝炎が約15%、その他アルコール性など約17%です。肝ガンはわが国のがん死の第4位であり、年間34,000人程の死亡者数があります。



透析室における肝炎

国際的なDOPPS(血液透析の治療方法と患者の予後についての調査)の報告ではB型肝炎ウイルスの有病率は3.3%、新規感染率は1.2%、C型肝炎ウイルスの有病率は19.9%、新規感染率3.1%でした。しかし、B型肝炎ウイルスは78.1%の施設でC型肝炎ウイルスは55.6%の施設で、年間の新規感染は共に0%であり、施設により新規感染率に差があることが報告されています。

肝炎予防と治療

①予防の大切さ

C型肝炎ワクチンは存在していませんが、B型肝炎ワクチンは存在しています。HBs抗体陰性の患者様は是非、B型肝炎ワクチンを接種していただきたいと思います。ただし、**有料であり自己負担**が発生します。

②治療の進歩

- ・B型肝炎治療: 1)抗ウイルス薬、2)インターフェロン
- ・C型肝炎治療: 1)抗ウイルス薬、2)インターフェロンなど。

最近のトピックスは、直接作用型抗ウイルス剤の登場とその進歩にあります。

アスナプレビルとダクラタスビルの2剤併用療法はC型肝炎ウイルス駆除成功率90%前後という高い効果を示しました。24週間(約6か月間)の服用やゲノタイプ型のウイルスが適応、また、年齢など、いろいろと適用条件はありますが、適応ならば、治療を是非受けていただきたいと思います。

予防・治療に関して興味のある方は一度、主治医に相談してください。



医師のご紹介

当院に新しく入職された医師を紹介します。
よろしくお願ひ致します。



佐々木 陽子 糖尿病・内分泌内科 / 月曜午後
 一般・糖尿病内科 / 火曜午前

東京都品川区生まれ、千葉大卒。2年前に夫の転勤で名古屋にきました。糖尿病代謝が専門です。透析のこと勉強したいです。よろしくお願ひします。

2015年度患者サービス推進委員会活動報告

患者満足度調査 2015年6月実施
 外来300名 病棟49名 浄化センター58名

第23回オープンセミナー 2015年9月12日 参加者41名
『糖尿病について』『フットケアについて』

病棟クリスマス会 2015年12月19日 参加者22名

第24回オープンセミナー 2016年2月6日 参加者43名
『誤嚥について』『誤嚥を予防して安全に栄養補給しましょう』

新生会第一病院 一般外来診療体制表

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
腎臓内科	午 前	○	△	△	○	○	○
糖尿病内科		△	○	△	△	△	△
一般内科		○	○	△	○	○	○
リウマチ科/整形外科		○	○	△	○	△	○
糖尿病内科/内分泌科	午 後	○	○	△	○	○	△
リハビリテーション科	※	○	○	△	○	○	○

診療時間：

午前 9:00 ~ 12:00 (受付時間 8:30 ~ 11:30) / 午後 13:30 ~ 16:30 (受付時間 13:00 ~ 16:00)
(曜日、科により診療時間に変動あり)

◎糖尿病内科の日に、糖尿病栄養外来、糖尿病看護外来実施
◎リウマチ相談窓口あり

※リハビリ実施時間：

午前 9:00 ~ 12:00 / 午後 13:00 ~ 16:00

人工透析内科、透析ベッド 46 床、午前の部、午後の部あり

新生会第一病院

住所 〒467-8633 名古屋市瑞穂区玉水町1-3-2

電話 (052)832-8411 FAX (052)832-9063

ホームページ <http://www.hospay-shinseikai.org>

※当院外来では、予約制を実施しております。(初診の患者様、急変した再診の患者様、又、再診の方でも急に受診日を変更したい場合等は、予約がなくても受付けますので来院ください)

